



白馬岳頂上宿舎視察 8月7日

予定しています。

問 有害鳥獣駆除事業は、

答 24年度、白馬村有害鳥

獣捕獲実施組織を
結成し、猟友会会
員を任命しました。

猟友会への支援を
強化し、会員が増
えるように環境を
つくっていきます。

問 観光局に対
する費用の
上限は。

答 会員の負担
相当分を負
担することを原則
としています。

賛成討論

年の事業年度を予定し、完成後は、土地改良区が維持管理をします。長野県モデル事業第1号に認定され、国が50%、県が35%、村が15%の負担割合となります。

水道負担金は、正確な数字に修正するように、議会も責任を持ち、認定することに賛成。ただし、認定するにあたり、附帯決議を付けた方がよい。

賛成討論

項目は、下水道特別会計を基にしていて、下水道特別会計を修正することで、必然的に一般会計についても修正されるので認定することに賛

問 奈良井地区公園化の進捗状況は。
答 農振除外が決定すれば、24年度予算の範囲内で用地の一部取得を予定、25年度では用地取得と一部着工を

成。
▽原案どおり認定すべきものと決定。

▽賛成多数により附帯決議を付けるべきものと決定。

国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算

歳入総額は12億4251万5千円、前年度比8591万2千円増。歳出総額は11億9165万3千円、前年度比1億186万7千円増。実質収支は5086万2千円黒字、前年度比2595万6千円減です。

問 不納欠損89万2千円の件数は。

答 現年度分2件、過年度分19件、計21件です。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

歳入総額は6275万6千円、前年度比193万8千円増。歳出総額は6257万6千円、前年度比175万8千円増。実質収支は18万円黒字です。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

下水道事業特別会計歳入歳出決算

収益的収支は1億4402万3千円、資本的収支は△1億3716万円、単年度収支は686万3千円の黒字。実質収支は前年度繰越金946万6千円を加え、1632万9千円の黒字です。

問 決算書の分担金及び負担金調定額が6月の報告書と相違しているが。

答 報告書が正確な数字で、21年度、22年度と滞納繰越分の調定額に誤りがありました。23年度はこのまま処理し、24年度で正確な数値に修正します。

問 前納報奨金の件数は。

答 区域外流入は2件、その他10件で、農地転用して新しく賦課されたものです。

問 18年度賦課なので、前納報奨金の請求期限は終了しているのではないか。

答 18年度賦課なので、前納報奨金の請求期限は終了しているのではないかと。施行規則第7条には5年を経

過したものは報奨金を支払わないとあるが。

答 報奨金は、23年度の区域外申し込みのうち、一括納付者に支払ったものです。ご指摘のとおりで、該当する土地に前納報奨金を支払っているのは過払いとなります。徴収年度の確認、過払いの精査をし、24年度中に精算（回収等の実現）したいです。

問 報奨金対象の区域外物件は、公共枡への区域外流入か、新たに本管を敷設したのか。

答 公共枡はありません。区域外は下水道管を個人で埋設してもらっており、工事費用の70%、150万円上限で補助金を出しています。23年度は11件で、計294万円を補助しました。

問 加入分担金は接続の30日前までに全納するところが原則で、22年度、23年度に分担金の収入未済額が発生することは疑問であるが。

答 当該者と分納誓約を結んだことによるものです。

問 加入分担金は接続の30日前までに全納するところが原則で、22年度、23年度に分担金の収入未済額が発生することは疑問であるが。

答 当該者と分納誓約を結んだことによるものです。